

評価項目	評価員からの意見	今後の対応
1 学校経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校全体で組織目標を共有し、学校運営につなげることができている。</li> <li>学校評価結果や会議での外部委員の意見ひとつひとつに対し丁寧に対応していると感じた。</li> <li>限られた予算の中、知恵や工夫で教育環境の整備、ICT化の推進をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織目標の達成に向け、学校評価結果、学校評価関係者の意見を共有し、課題解決に取り組みたい。</li> <li>限られた予算の中、優先順を考え計画的に教育環境の整備を図りたい。</li> </ul>
2 学科運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員間で情報共有し、連携できていると思う。</li> <li>多くの学生に（就職先として）選んでもらえるよう、実習施設として実習指導者の育成に取り組んでいきたいと考えている。今後ご協力お願いいたします。</li> <li>新カリキュラムへの移行がスムーズに行えている。</li> <li>コロナ禍にあっても、講義、授業共に学生にとってよい環境が提供できるよう努力している。</li> <li>授業評価が適切に行われ、教育内容の改善に努めている。</li> <li>実習で学ぶことは多いので、実習による経験は重要である。患者との関りを中心として、指導者と学生、学生個人に対して、実習を共にしているグループ間、など様々な人との関りで、学生が成長できるように教員が尽力していることが伺われた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>より良い教育を提供するため、新カリキュラムの教育評価を行っていく。また日々の授業については、授業評価を取り入れ改善していく。</li> <li>臨地実習での学びは学生にとって大きな成長の場となる。今後も、施設と調整しながら、学生が一看護師として成長できるよう支援していく。また、各学生が、指導者、患者など自分と関わるすべての人との関りが自分を成長させてくれると意識できるよう働きかけていきたい。</li> </ul>
3 入学・卒業対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>「県内就業」を強く促していただきたい。また、県内在住者が県外へ流出する理由等、情報があればお知らせいただけるとありがたい。</li> <li>入学に関しては、進学ガイダンス、母校訪問、オープンキャンパスの実施、また卒業交流会への参加促進も積極的であった。</li> <li>特に卒業生への支援について工夫されており、卒業生交流会では参加者の大幅な増加が評価できる。また、就職支援として模擬面接の実施を全員に行うなど、近年の学生にとっては必要な取り組みが行われている。</li> <li>国家試験に全員合格という実績が全てを評価していると言っても過言ではないと考えている。また、合格が目標ではなく、卒業後においてもなお教員が関わって成長を支援していること、卒業生の状況を把握して在校生に活かされていることを評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内就業については、令和7年度からの募集要項に、特別入学試験の受験資格として、「卒業後岐阜県内に看護職として就業する意思を有するものであること」を追記し、県内就業を強調した。また、進学ガイダンスから県内就業について説明することで、卒業後は県内に就職することをイメージさせる。入学後は、1年次より繰り返し説明し県内就業を促していく。</li> <li>入学者確保については、他の方法も模索しながら進めていく。</li> <li>卒業年度の学生には就職試験に向けての支援を継続するとともに、就職後の支援も行っていく。</li> <li>卒業生を対象にしたカリキュラム評価を行い、本校の課題を明確にしていく。</li> </ul>
4 学生生活への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>価値観が多様性で、社会的規範の遵守が十分できる学生ばかりではない中、一人一人の学生にきめ細やかに関わっておられることに敬意を表す。</li> <li>学生一人ひとりに応じた対応が益々求められていると感じた。学習面だけでなく社会人基礎力を身につける必要性も含め、様々な角度からの支援に尽力されていると思う。</li> <li>ストレスチェックや入学前調査などを通して、学生の状況を把握しきめ細かな対応ができている。</li> <li>学内のみでなく、日常生活（家庭）にも踏み込まなくてはいけない問題などに対する支援に関わっており、教員の苦労が伝わってきた。教員の負担緩和につながる方策があるといいと思う。</li> <li>奨学金の支援手続きや環境整備がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な学生に対し、一人一人に合わせた関わりを意識して行っていきたい。</li> <li>看護師として働いていくうえで、社会人基礎力などを身につけられるよう支援していく必要がある。学生の日常生活行動について気になることを教員間で共有し、一貫した指導を行っていく。</li> <li>様々な背景の学生が入学しており、教員の負担が増えている。スクールカウンセラーの介入を早い段階に促すとともに、組織としての対応方法を明確に示すことで、教員の負担が緩和できるよう努めていく。</li> <li>奨学金の情報提供や手続きの支援を今後も行っていく。</li> </ul>
5 教職員の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年目の教員に対してもプリセプターを中心に丁寧に支援されている。</li> <li>臨床現場では新カリキュラムにまだ十分な対応が出来ていないと思うため、各部署の実習担当者へのご指導、助言等、引き続きのご協力をお願いしたい。</li> <li>職員間の伝達講習やキャリアラダーに沿った新人育成評価されている。職員間での授業参観は効果的と考える。</li> <li>研修への参加と伝達講習、授業参観などの積極的な取り組みにより、教員の質の向上に努めている。</li> <li>教員の育成については、自己評価、他者評価などを活用し努力されています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新人教員の育成を今後も丁寧に行っていく。</li> <li>実習指導者との調整能力は、専任教員として必要な能力である。今後も各教員が意識して行えるようにしていく。</li> <li>授業参観におけるリフレクションを大切に職員間で共に学び成長できるよう授業参観を継続していく。</li> <li>キャリアラダーに合わせて自己研鑽できるよう今後も支援していく。</li> </ul>

6 管理運営 ・財政	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的にDXに取り組んでおり、業務改善につながっていると思う。</li> <li>学生の意見ひとつひとつに向き合い対処している。</li> <li>災害への危機管理として防災訓練などが実施されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX化の推進に向けて、校務支援システムを運用し業務改善を図りたい。</li> <li>災害に備え、年度初めの防災訓練、実習オリエンテーション、長期休暇前など、学生に説明していく。</li> </ul>
7 施設設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>長年の課題であるトイレの改修がすすむことを期待している。</li> <li>ICTについては積極的に進めており評価できる。</li> <li>学生から要望の多いトイレの改修については、日常生活に影響を及ぼすものであるためできるだけ早い対応ができるよう調整するとよい。</li> <li>施設内のリフォームをされたりできる限りの対応はされている。施設の老朽化は仕方ないと思いますので難しいところだと思う。それ以外のICT活用を積極的に行われているのは素晴らしいと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの改修工事は、本課と調整しながら進めていく。</li> <li>老朽化に伴う改修は計画的に進めていく。</li> </ul>
8 社会貢献 地域活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域看護と地域での奉仕が結び付けられると良いと思う。</li> <li>高齢者との交流がコミュニケーションの学びになると学生が思えると良いと考える。</li> <li>住み慣れた地域のために役立ちたい、貢献したいという意思を持つ学生が多い印象である。</li> <li>私たち地域の看護職と連携した活動など計画できたら有難いと思う。</li> <li>入学する学生の多くは、学校のホームページを見て情報を得ているため、学生の意見にもあったように、情報が得やすいホームページになるようもう少し工夫があるとよい。特に、シラバスや実習内容がわかる情報を掲載されるとよい。</li> <li>ボランティア活動においては、学生が自律的に行えるように支援されていることは良いことだと評価した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の入学後すぐに、地域・在宅看護論で地域探訪を取り入れていること、施設看護を体験していることから、広く、人々の生活を捉えることができている。</li> <li>本校は、東濃地区をはじめ、多くの方の協力により学生への教育ができている。それを実感して学習している学生が増えている。</li> <li>今後、さらに地域と連携した活動ができるよう模索していきたい。</li> </ul>